

# けがをしたときは

さいがいがおきると、けがをしてしまうことがあります。自分でできる手当ての方法をおぼえましょう。

けがをしている人を見つけたときは、大人につたえましょう。

## 1 手当ての方法をおぼえましょう

### ●きずなどによる出血

まずは、きれいな水しみずであらい、出血しゅっけつしているところをきれいなガーゼぬのや布つよで強くおさえ、血ちにちよくせつさわらないようにします。

きれいなガーゼがないときは、ハンカチなどの身近みぢかにある布ぬのをつかきましょう。



### ●だぼく

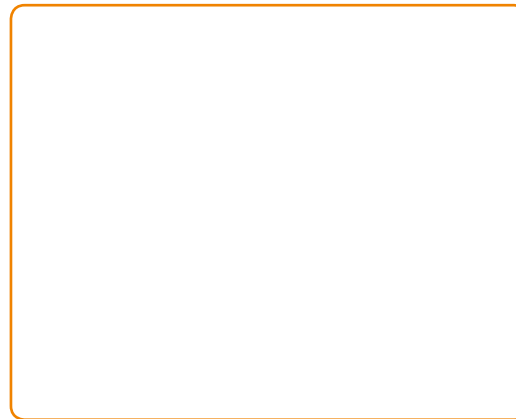
ひなんするとき、つまずいたり、ぶついたりすることがあります。

いたいところをよく見みましょう。はれたり、形かたちがかわっていたりしたときは、動うごかないようにし、すぐにお大人おとなに知らせしましょう。

## 2 大人につたえよう

けがをしたり、たおれている人を見つけたとき、近くちかにいる大人おとなにつたえましょう。

「どんなふうはなに、話せばいいのかな？」



### けがの手当てにやくだつ身近な物

ネクタイ：血ちを止とめるときほうたいのかわりになります。

ハンカチ：ガーゼのかわりになります。

ビニールぶくろ：血ちを止とめるときの手ぶくろのかわりになります。

ほん本・かさ・木きの枝えだなど：こっせつしたとききのそえ木のかわりになります。

